

LumiUnion(旧浪江女子発組合)と学生等のワークショップ開催 ～今秋の2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)常設展示の序章として～

メタバース推進協議会(代表理事：養老孟司)は、「人間本来の暮らし方の探求～最先端のデジタル技術と生きる社会とはなにか～」をテーマとして、フューチャーライフ万博の「未来の暮らしに関する問いや提案を持ち寄り、発信・共創する場として、未来に向けた問いと提案を集め、体験提供を通じた未来社会のデザインを提案し、課題解決を目指す」という考えに共感し、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・フューチャーライフエクスペリエンス」のパートナーとして最先端のデジタル体験をしていただく展示を行います。

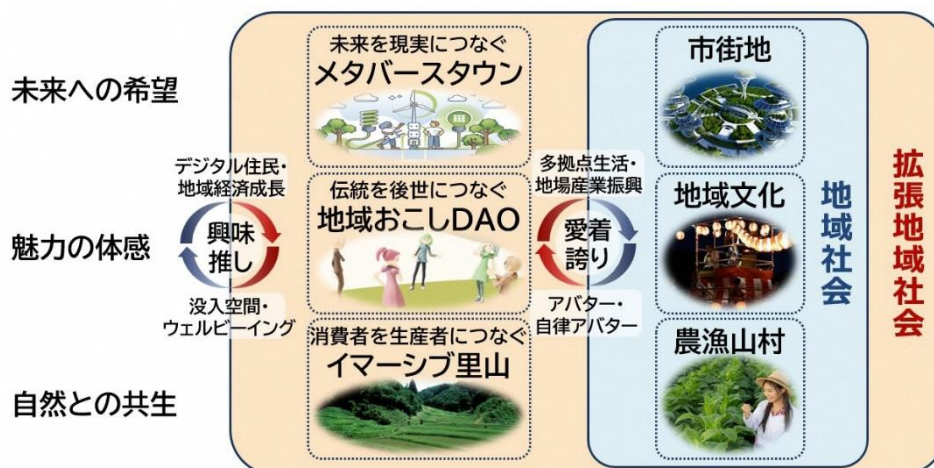


■一般社団法人メタバース推進協議会(代表理事：養老孟司)について

メタバース推進協議会は、最先端のデジタル技術を活用しながら“人間本来の暮らし方”の探求をめざし、日本人の生活文化や産業の醸成や継承につながる新たな文化圏、経済圏のあり方を検討することを目的に、2022年3月に設立いたしました。

現在の日本社会は、少子高齢化・大都市への人口一極集中・地域の過疎・農林水産業衰退などが複雑に絡み合う、解決困難な社会課題を抱える「課題先進国」とも言われています。地方において、地域社会の社会基盤・インフラをデジタル技術で補完することで関係人口との絆を醸成し、文化圏・経済圏を維持する必要性が高まっていくことが想定されます。そこで、次世代の社会基盤となる『拡張地域社会ふくしま(仮)』※1の世界観や未来社会を模索し、デジタル技術がどう現実社会の暮らしと折り合いをつけられるかを、全国の自治体、教育機関、地域企業と共に考える機会の提供を進めています。

※1：最新のXR技術をもとに都市部と福島の関係人口創出を行う構想



■大阪・関西万博での常設展示について

メタバース推進協議会は、次のとおり「拡張地域社会ふくしま」等に関する常設展示を行います。

<展示期間>

・2025年9月28日～10月13日

<展示場所>

・フューチャーライフビレッジ内「フューチャーライフエクスペリエンス」

<展示内容>

- ・福島県自治体を素材にした「拡張地域社会ふくしま」イメージ映像紹介
- ・AI 養老先生による語り部
- ・震災復興関連の情報展示など

<協力>五十音順

葛尾村、喜多方市、田村市、浪江町

<技術協力>

国立大学法人東京大学、国立大学法人福島大学、株式会社NTTデータ

■ワークショップ（みらいの仕事 with LumiUnion）概要

メタバース推進協議会は、大阪・関西万博常設展示と連動したワークショップを次のとおり浪江町において開催します。このワークショップの成果を、大阪・関西万博常設展示会場で行われるステージイベント（詳細未定）で発信します。

日 時）令和7年8月26日（火）13:00-17:00

場 所）道の駅なみえ（福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字知命寺 60）

テーマ）みらいの仕事・未来の福島の入り口

- ・自己紹介
- ・ワーク～未来の道具の使い方※バーチャルなどこでもドア
- ・ワーク～未来のニュース作成
- ・成果発表

ゲスト）LumiUnion（田中咲帆さん、雪月心愛さん 予定）、

福島大学 F-REI 食農チーム代表小山教授

参加者）浪江町地元企業社員、浪江町町民、福島大学学生、株式会社NTT データ等

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人メタバース推進協議会 事務局長：小水

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-33 プリンス通りビル 2 階

TEL：03-5226-1087 FAX：03-5226-1089 MAIL: y.komizu@jmpc.jp

(参考)

<常設展示の内装イメージ> (設計デザイン：隈研吾建築都市設計事務所)

当協議会の特別顧問である隈研吾氏により、コンセプトである「里山」を空間全体で感じることができるようデザインで内装設計をしております。



<フューチャーライフエクスペリエンス外観イメージ> (提供：KOMPAS JAPAN 株式会社
一級建築士事務所)

